

吉木 ちひろ (2009・産社)

C：福島県スパリゾートハワイアンズ

東北応援ツアーということで、今回参加を致しましたが、かえってエネルギーを頂いたような印象を受けました。

現地では、破壊されたままの集落や堤防から、地震や津波の驚異を窺い知ることができました。人が全く入っていない仮設住宅からはニーズに必ずしも合っていない復興支援策の様子も感じられました。目で見えてわかる実情ばかりでなく、福島第一原発警戒区域からの避難民の受け皿として機能する一方で、被災地として市民を支援したり、風評被害と戦ったりしているいわき市のジレンマや、放射能の問題への世論や復興支援が先行して物理的な破壊への支援が後回しにされがちだという実情など、現地で生活している方からお話を伺えたからこそじっくり受け止めて考えられた問題もありました。

まだまだ生々しい傷跡の残る現状がありながらも、感謝と助け合いの気持ちを忘れず日々の生活を送る姿に、目の前の課題に正面から向き合う姿勢を習い、私も共に日本を元気にしていきたいという気持ちを持ちました。